

## 放送ストリーミング情報掲載

### 放送ストリーミング情報【2024No.339】(HP 掲載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：フランツ・シューベルト

曲名：ピアノ三重奏曲変ホ長調 D 897 《ノットウルノ》

演奏：ファイニンガー・トリオ

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55065>

2024年3月5日ベルリンフィル小ホールでの演奏です。



ファイニンガー・トリオが奏でるシューベルト、ブラームス、ツェムリンスキー、グルズィ

「ブラームスと話すのは簡単なことではなかった」とツェムリンスキーは回想します。しかし、ブラームスの冷淡な態度の裏には暖かな芯が隠されており、彼はこの若き同僚を広範に渡ってサポートしました。ツェムリンスキーの激しい三重奏曲ニ短調には、彼の模範となったその人物の面影がはっきりと残っています。ブラームスの最後のピアノ三重奏曲も、情熱的なフィナーレで締め括られます。また、シューベルト《ノットウルノ》とファイニンガー・トリオに献呈された作品であるグルズィ《アポロン》は、このプログラムで対位法を成していると言えるでしょう。

ファイニンガー・トリオ

クリストフ・シュトロイリ(ヴァイオリン)

ダーヴィット・リニカー(チェロ)

アドリアン・エティカー(ピアノ)

上記の他に下記が演奏されました。

アレクサンダー・ツェムリンスキー

三重奏曲ニ短調 op. 3 (ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための編曲)

コンスタンティア・グルズィ ピアノ三重奏曲《アポロン》 op. 101

ヨハネス・ブラームス ピアノ三重奏曲ハ短調 op. 101

ヨゼフ・スーク ピアノ三重奏曲ハ短調 op. 2 よりアンダンテ

シューベルトのピアノ三重奏曲変ホ長調《ノットウルノ》は、抒情に富んだ美しい曲です。

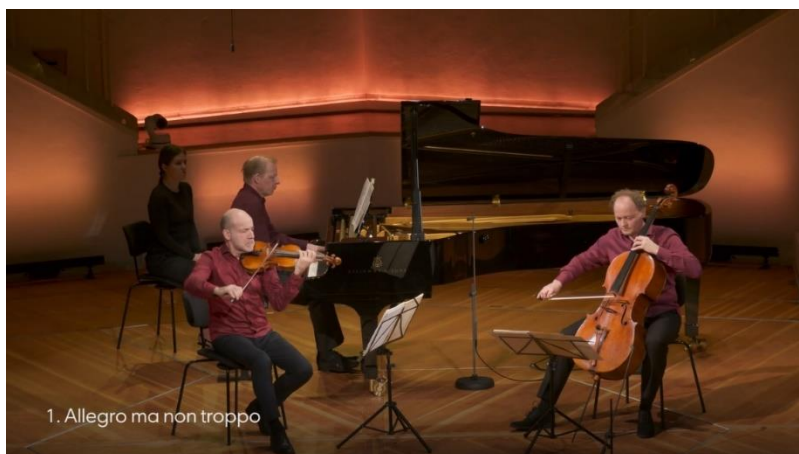
ツェムリンスキーの三重奏曲ニ短調（ヴァイオリン、チェロ、ピアノのための編曲）は、初めて聴くものですが、メランコリックで緊張感も漂う表情の曲です。

グルズィのピアノ三重奏曲《アポロン》は、これも初めて聴くものですが、現代曲のようで、チェロの弦を弓でたたくような演奏技法があったりして、不思議な感覚を覚える曲です。

ブラームスのピアノ三重奏曲ハ短調は、ブラームスらしいメランコリックなロマンチズムを情熱的に表現する曲です。

スークのピアノ三重奏曲ハ短調は、アンコール曲で小粋な小品です。

ベルリンフィルの小ホールでの室内楽の演奏は、しばらくぶりですが、この間に LAN アキュライザー、Crstal EpL、CD クリーナーの処理に加え、スイッチングハブとルーターの LAN ポートにフェルトダンブ端子を装着しており、それぞれ表情の異なる曲の室内楽の凝縮した演奏の表現が実現されています。



以上